

長野の溶接企業子会社化

東成鋼管、新事業所も併設

鋼管販売や超精密金属管製造の東成鋼管（本社〓東京都中央区、岡部耕喜社長）は、長野市で溶接を手掛けるエヌ・ワイ産業（石井祐一社長）を10月7日付で子会社化した。エヌ・ワイ産業の営業窓口はそのままエヌ・ワイ産業が継続し受け持つ。東成鋼管の子会社となったエヌ・ワイ産業の社長を岡部氏が兼務し、エヌ・ワイ産業の石井社長は専務取締役となる。また東成鋼管では10月11日付で新たに長野事業所をスタートした。

エヌ・ワイ産業は年々鋼材などの溶接を得る管の子会社となった後、従業員はそのままと同社売上高数億円。鋼管一社として所屬する。東成鋼管も、エヌ・ワイ産業の一社員として所屬する。

事業の方向性は現状のエヌ・ワイ産業の基盤を生かしつつ、溶接を中心とした加工の充実に図り、東成鋼管の事業を補完する。11日付でスタートした東成鋼管長野事業所は今後、在庫展開などを検

討する。

東成鋼管の岡部社長は「M&A機関から紹介があった。溶接加工の一層の充実に図りながら、当社の浦安、古河、仙台の各拠点と連携するなどし、融合を図っていきたい」と話している。

東成鋼管にとっては初のM&Aとなる。

【東成鋼管長野事業所】

【エヌ・ワイ産業】

▽住所〓長野市大豆

島5080

▽電話026-22

1-73333

▽FAX〓026-

221-1095